

平成 22 年 5 月 10 日現在

研究種目：基盤研究（A）
研究期間：2007 ～ 2009
課題番号：19200058
研究課題名（和文） 東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的研究

研究課題名（英文） Zooarchaeological studies on the diffusion and dispersal of the domesticated animals in the East Asia.

研究代表者

松井 章（MATSUI AKIRA）

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・埋蔵文化財センター・センター長

研究者番号：20157225

研究代表者の専門分野：動物考古学、環境考古学
科研費の分科・細目：文化財科学・文化財科学
キーワード：家畜

1. 研究計画の概要

考古遺跡から出土する動物遺存体の整理、分析を基本にしながら、遺伝子解析、安定同位体による食性分析、AMS放射性炭素年代測定自然科学分析法を用いた共同研究を推進して、東アジア各地における家畜の伝播と拡散を明らかにすることを目的とする。その対象地として、中国、台湾、韓国他から試料の提供を受け、東アジアから東南アジア全体での家畜の受容の年代とその拡散のプロセスを明らかにしたい。

2. 研究の進捗状況

中国浙江省田螺山遺跡、韓国金海会峴里貝塚などの報告書を刊行することができ、環境考古学、動物考古学関係を分担執筆することができた。2009年、2010年とラオスの民族考古学調査を実施し、セキショクヤケイ、イノシシの標本を入手製作するなど新しい研究に着手した。

3. 現在までの達成度

中国、韓国における家畜、特に豚・牛・馬の出現や普及の年代は一定の見通しをつける

ことができた。日本との関連を具体的に年代づける作業がこれから必要となる。東南アジアにおける家畜・家禽の研究は、いまだその端緒にすぎない。

4. 今後の研究の推進方策

遺跡出土動物遺存体に基づき、中国、朝鮮半島、日本における家畜・家禽の出現時期の解明と、その形質を明らかにしたい。そしてラオスの民族考古学を報告書としてまとめた。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 29 件）

松井章「西アフリカ セネガル シヌ・サルーム (Sine-Saloum) 貝塚群」『考古学研究』223、PP.132-134、2009、査読有

Matsui, A., 'Exploitation of plants and animals at the Jomon wetland site of Sakuramachi in Toyama, Japan' *Relics of Old Decency - Archaeological studies in*

later Prehistory- A Festschrift for Barry Raftery pp.67-77, 2010, 査読有

Ishiguro, N., Y. Inoshima, Y. Sasai, and T. Takahashi 'Molecular characterization of chicken prion proteins by C-terminal-specific monoclonal antibodies' *Vet. Immunol. Immunopathol.* 128, pp.402-406, 2009, 査読有

松井章「動物考古学からみた中世の動物利用」『動物と中世 獲る・使う・食らう』 pp.17-48、2009、査読無

中村俊夫「加速器質量分析とその放射性炭素年代測定への応用」『加速器』5(3) pp.197-207、2008、査読有

[学会発表](計25件)

Matsui, A., 'Year-round activities of the large wet shell mounds during the Jomon Period, JAPAN Over 3000 shellmounds are distributed in Japan.' *Society for American Archaeology*, 2009.04.25、アメリカ

Matsui, A., 'The excavation of Higashimyo wetland site, buried by the transgression at 7000 BP' 世界考古学会議, 2008.6.30、ダブリン

Matsui, A., 'Shell midden research in Japan and Korea : a personal view' *Shell Energy Prehistoric Coastal Resource Strategies* 2008.4.9、セネガル

Matsui, A., and P. Bleed 'Jomon Ecological Style, Agricultural origins, and the Delayed Appearance of Agriculture in Japan' *Society For American Archaeology*, 2008.3.28、カナダ

Matsui, A., 'A New Method to Identify Modification of Bones' *International Conference of Zooarchaeology* 2007.7.14、

中国

[図書](計1件)

松井章、京都大学学術出版会『動物考古学 Fundamentals of Zooarchaeology in Japan』2008、312pp.